

大寺小学校の閉校決定までの経緯は、以下の文書の通りです。

### 統合に向けて

校長 太田祐子

平成31年4月1日をもって、大寺小学校は山辺小学校と統合し、大寺小学校は閉校することが決まりました。山辺町では、町全体としての教育環境を充実させることを目的に、町内小・中学校の今後の方向性を示した『山辺町小中学校将来構想』を平成21年10月に策定しました。その中に、「大寺小学校について、今後とも児童数の回復が認められない場合、児童数50名を一つの目安とし、再編・統合を検討する」ということが定めてあります。

昨年度、児童数は46名になり、今後、児童数が増加するという事は極めて難しいということから、昨年12月、教育委員会主宰の「大寺小学校の今後の教育を考える座談会」が開催され、学校評議員の皆様や教育後援会長、大寺・中地区のブロック協議会長、28年度PTA、母親委員の皆様などが出席され、話し合いがなされ、「子どもたちに一番近い立場にある保護者の声を尊重したい。」との意見をいただきました。それを受けて、前PTA会長及び現PTA会長が、保護者の皆様方に呼びかけて「大寺小学校の今後を考える集い」を開催していただき、保護者の皆様方が、再編・統合について考える場を設け、意見の取りまとめをしてくださいました。その後6月には、2回目の「大寺小学校の今後の教育を考える座談会」が開催され、保護者の中で取りまとめた意見を尊重し、大寺小学校の再編・統合について推進していく事が確認されました。これらの会議を経て、この7月、山辺町教育委員会では、大寺地区、中地区の地区委員等を対象にした再編・統合に向けた説明会を開催しました。

山辺町、大寺小学区の皆様方、保護者の皆様方が、大寺小学校の46名の子どもたちの未来を一生懸命に考えてくださり、大寺小学校と山辺小学校は統合することになりました。

8月29日、臨時の全校朝会を設け、大寺小学校が山辺小学校と統合になり、大寺小学校が閉校になることを子どもたちに話しました。統合と閉校のことを、子どもたちにど

のように伝えたらよいかとても悩みましたが、「統合・閉校の事実」「統合となったわけ」「学び合い、高まり合う仲間が増えること」「子どもたちを支えてくださる保護者・地域の皆様が増えること」「大寺小学校の歴史と伝統を身につけ、誇りにし、希望をもって新しいスタートを迎えること」を話しました。

山辺小学校との統合まで、残された時間は1年半となりましたが、子どもたちが何よりも安心して、期待と希望をもって平成31年4月1日を迎えることができるように、職員15名、心して、きめ細やかな支援と指導に努めてまいります。大寺小学校を巢立っていかれた、たくさんの先輩方が築いてこられた歴史と伝統をしっかりと身につけ、大寺・中地区で育っている子どもであることを誇りに、山辺小学校の子どもたちと手をつなぎ、新しい未来を創っていけるように、誠心誠意、教育活動を進めてまいります。

今後、統合の日を迎えるまで、保護者の皆様や地域の皆様方には、お知恵やお力を拝借することが多々あると思います。何卒よろしく願いいたします。

10月28日(土)は、「寺っ子発表会」を開催いたしますが、終了後、保護者の皆様には、統合に向けた今後の日程や動きについての説明会を実施させていただきたいと思っております。正式なご案内は改めて出させていただきますが、どうぞよろしくお願いいたします。

平成29年10月16日発行の「大寺小だより」第7号より